

就農イメージを具体化させよう!
先輩就農者と研修機関を訪ねる

10/26
(土)

ひょうご de 就農 バスツアー

参加費
1,500円
(昼食代)

募集人数：先着 30人
申込期限：10月15日



南あわじ市市三條



兵庫楽農生活センター 就農コース

スケジュール

- 8:30 「ラウンドワン三宮駅前店」前集合
- 9:00 " 出発
- 10:10~11:10 南あわじ市市三條 いちさんじょう
(農場見学/玉葱・白菜・レタス)
- 12:20~13:40 兵庫楽農生活センター〔神戸市西区〕
(研修機関/施設・研修見学、昼食)
- 14:00~15:00 有田農園〔神戸市西区〕
(農場見学/ミニトマト)
- 15:30~16:30 アグリスタイル〔三木市〕
(農場見学/水稲・ぶどう・ブルーベリー・アスパラガス)
- 17:15 「ラウンドワン三宮駅前店」前解散



有田農園 有田真也 氏



アグリスタイル 山本洋太朗 氏ご夫妻

主催：公益社団法人 ひょうご農林機構(ひょうご就農支援センター)、兵庫県

訪問先



① 南あわじ市市三條
地域と就農希望者を取り持つ「就農・定着応援プラン」策定地区。
三條環境整備隊の親方の元で3年間雇用就農により技術を習得し、
その後、地域農業の担い手として独立を目指す。

地区の主要品目
第1位 玉葱
第2位 白菜
第3位 レタス



【地域の親方】



*就農・定着応援プラン

兵庫県が取り組む「地域主導型就農・定着応援プロジェクト」により作成するプラン
このプロジェクトは、新規就農者に来てほしいと考える地域(集落や産地)が新規就農者の
就農・定着を応援するチームを作り、話し合いを基に、就農希望者が就農の検討に必要な
地域農業情報(空家、農地、支援体制等の情報)を記載した「就農・定着応援プラン」を作成し、
本県での就農に関心のある就農希望者に対し、積極的に情報発信するものです。
作成した応援プランに基づき、新規就農者が地域に定着するよう、県、市町、農業委員会
等の関係者が応援体制を構築し、それぞれの立場から支援しています。



② 兵庫楽農生活センター

「楽農生活」とは、農村漁村との交流などを通して、食や「農」に親しみ、より人間らしい暮らしを送ろうという、兵庫県が
提唱する新たなライフスタイル。兵庫楽農生活センターでは、誰もがこの「楽農生活」の体験や実践ができるよう、また
気軽に「農」の大切さを学べるよう、様々な施設やプログラムが用意されている。



〔社会人向け研修コース〕



生きがい農業コース

生きがいとして農業を楽しみたい方を対象に、野菜栽培等の基本を座学で学びながら、約40㎡
の畑で野菜栽培が実践できる約半年間の研修
〈春夏野菜コース〉、〈秋冬野菜コース〉



就農コース

本格的な農業経営をめざす方を対象に、総合的な農業知識や栽培技術、経営管理を習得する1年間
の実践的な研修
〈いちご高設栽培コース〉、〈果菜類周年栽培コース〉、〈無加温施設栽培コース〉、〈有機栽培コース〉
2005年度から2023年度までに283人が修了し、うち246人が就農している。



有機農業塾

有機農業に関心ある方を対象に、有機農業の理論や実習による栽培技術を学ぶ研修。

③ 有田農園、有田真也 氏

兵庫楽農生活センターの「就農コース」を修了後、2013年に就農。
農地20a、ビニールハウス7aでスタート、
その後、農地34a、ビニールハウス17aに経営拡大した。
品目 ミニトマト



④ アグリスタイル、山本洋太郎 氏

2008年に神戸市からIターン就農。
ブドウ一本でやっていく予定のところ、通年雇用を目的に多品目栽培に挑戦。
水耕栽培やアスパラガスなど多角化に取り組んでいる。
農業インターンシップ研修生、雇用就農者から多くの独立就農者を送り出している。
経営面積 100a



アスパラガス



申込方法

ひょうご就農支援センターホームページの就農相談カードから申し込んでください。
就農相談カード最下欄の通信欄に「バスツアー参加希望 ○人(1組2名まで)」と記入してください。
※就農相談カードの各項目への記入をお忘れなく!



お問合せ先

ひょうご就農支援センター 担当 赤井
Tel:078(391)1222/メール:akai_yasunobu@forest-hyogo.jp